

島根大学教育学部・ 教職大学院 一貫プログラムのおしらせ

島根大学教職大学院とは

■ 学び続ける教師、スクールリーダーの養成

地域の学校教育現場が有する教育課題に対応することができる高い総合力を有した教員の育成を目指しています。

■ 理論と実践の往還

大学での最新の教育・学習理論や研究手法の学びと、協力校(実習校)での実践を往還しながら、2年間を通して「地域の教育課題に関する研究」を進めます。

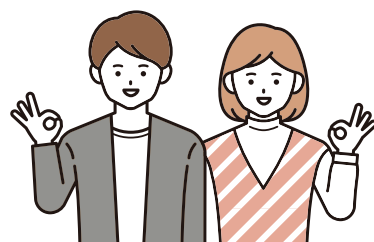
■ 教職大学院で育成を目指す資質・能力3つの柱

「学び続ける教師」に求められる「学校創造力」、「授業デザイン力」、「子ども支援力」を育成するカリキュラムを展開しています。共通科目ではこれら3領域を広く学び、選択科目では研究課題に応じて1つの領域を深く学ぶことができます。

2026年4月に
4年生になる
学生の
みなさんへ

奨学金制度
もあり!!

※詳しくは裏面の
「よくある質問」
Q5、Q6をご覧ください



じっくり 学べる 3年間

4年生のうちから 教職大学院の単位がとれる

教職大学院修了までに必要な単位は計46単位。通常、2年間で修得するこれらの単位のうち、8単位まで教育学部4年生のうちに履修できます。

授業デザイン

各教科の教科内容や
教材開発に関する
学びを充実!

優れた教科指導力を
持つ教師

教科指導についてもっと
深めたい!

現場に出る前に
もっと実践を積んで
おきたい!

学校創造

スクールリーダーに
求められる
学びを充実!

組織の中で力を
発揮する教師

地域と
連携した学校を
どう作る?

学校の組織を
もっと知って
おきたい!

現職教員の 教職大学院生と共に学ぶ

教職大学院では、学部卒業後に教職大学院に入学するストレートマスターと呼ばれる学生と、現職教員の学生が一緒に学びます。現場の声を日常的に聞きながらディスカッションしていきます。

子ども支援

多様性を尊重する
子ども理解・支援の
ための学びを充実!

子どもを深く理解し
支える教師

もっと
特別支援教育を
学びたい!

子どもをもっと
深く理解できるように
なりたい!

現場で働く前に、島根大学教職大学院という選択肢

一貫プログラム
第六期生

学生募集

※詳しくは裏面を
ご覧ください。

申請
受付期間 | 令和8年 1/19 月 ~ 23 金 選考日 | 令和8年 1/29 木

島根大学教育学部・大学院教育学研究科教育実践開発専攻(教職大学院)

令和8年度島根大学教育学部・教職大学院 一貫プログラム学生選考要項



1 本プログラムに申請できる学生の要件

島根大学教育学部に在学する学生のうち、学部を卒業後に引き続き教職大学院への進学を希望する者で、3年次前期までに次の基準に該当していること。

- ①教育学部の卒業要件単位のうち96単位以上を修得していること
- ②教育体験活動のうち「学校教育実践研究Ⅱ」、「学校教育実習Ⅲ」、「学校教育実習Ⅳ」、「学校教育実習Ⅴ」の単位を修得見込みであること又は履修資格を有していること
- ③GPAが2.80以上であること

2 募集人数 5名以内

3 本プログラム履修の申請方法

■申請受付期間 / 令和8年1月19日(月)～23日(金)

■申請書類

- ・教育学部・教職大学院一貫プログラム履修申請書
- ・志望理由書 ・成績証明書

※「教育学部・教職大学院一貫プログラム履修申請書」および「志望理由書」は、島根大学教育学部Webサイトからダウンロードしてください。

■申請先

島根大学学生センター教育学部担当
(電話)0852-32-6035

4 一貫プログラム履修に係る選考

■選考日 / 令和8年1月29日(木)

※集合時間等は、履修申請者に通知します。

■選考方法 / 志望理由書、成績証明書、および面接

※面接は一人30分程度を予定しています。

5 履修承認(合格)の発表

■発表日 / 令和8年2月16日(月)

■発表方法 / 履修申請者に対し、書面にて通知します。

一貫プログラムよくある質問

Q1 教職大学院の入試を改めて受ける必要がありますか？

A1 学部での卒業や教職大学院への入学は従来の通りです。したがって、教職大学院入試も受験する必要があります。ただし、本プログラムを履修している学生向けの入試を行います。

Q2 就学途中で教員採用試験に合格した場合、採用はどうなりますか？

A2 入学前や大学院1年生のときに合格した場合、たとえば、島根県や鳥取県等では、大学院修了まで合格を維持したまま、採用を待っていただけの制度があります。

Q3 指導教員は、学部と教職大学院でかわりますか？

A3 かわることもできますし、学部の指導教員に続けていただくこともできます。教職大学院での研究内容を考慮して指導教員を決めます。

Q4 途中でプログラムの履修をやめることはできますか？

A4 「教育学部・教職大学院一貫プログラム履修中止願」を提出することにより、本プログラムの履修を中止することができます。しかし、ぜひ教職大学院修了までの3年間の学びを達成してほしいと願っていますので、よく検討して本プログラムへの申請を行ってください。

Q5 教職大学院への進学時、入学金はかかりますか？

A5 通常通り入学金を納めていただきますが、入学金と同額程度の奨学金が支給される予定(大学院1回生の10月頃)ですので、実質的に入学金はかかりません。

Q6 教職大学院の奨学金が返還免除になりますか？

A6 令和6年度、優れた業績を挙げた教職大学院修了者が教員採用試験に合格し、正規教員として採用されると、奨学金が返還免除となる制度が導入されました。貸与される額や返還免除の対象・要件などにつきましては、本学学生支援センター2F学生支援課奨学支援グループまでお問い合わせください。

一貫プログラムを 利用した院生の声



一貫プログラムで学修することで、4年生から大学院の講義を受講し、単位を取得できます。そのため、大学院へ進学してからゆとりのある時間割で学修することができ、時間に余裕ができます。その時間を教員採用試験の勉強や自分の研究の時間などにあてることができます。時間的な余裕ができるのは大きなメリットです。

また、4年生の時から現職教員の学生の皆さんと繋がりができ、学校現場について多くのことを学ぶことができます。1つ上の先輩の院生との繋がりができることは、大学院進学後の安心感にもつながりました。

大学院では、理論に基づいた新たな視点からの講義に加え、現場で活躍された先生方から現場の実態や教育に対する熱い想いに触れることができるなど、本当に多くのことを学ぶことができます。

一貫プログラムでは、4年生、M1、M2と3年間をかけて学修するので、卒業研究から研究の見通しをもって進学できると研究生活がより充実します。志望理由書や面接でも研究のビジョンを問われるので、今一度自分が何を学びたいのか、研究していきたいのかを整理しておくとうれしいです。



教職大学院パンフレット



教職大学院について



教職大学院の活動



Instagram